

Geographic Information System

DocuMapTM feel

DocuMap feelTM マニュアル

マニュアル 修正版 v3.2.8

概要

このマニュアルは、初めてご利用になれるユーザーを対象としています。

コメントおよびフィードバックは、app@eidai-kaihatu.co.jp まで電子メールでお送りください。



目次

▪ DocuMap feel(ドキュマッフィール)について.	1
▪ 簡単操作説明.	2
▪ 動作環境.	3
▪ インストール.	3
▪ アンインストール.	3
▪ DocuMap feel の起動.	3
▪ ドキュメントリスト.	4
▪ 地図の操作.	6
▪ ポイントの登録・編集.	9
▪ ラインの登録・編集.	10
▪ ポリゴンの登録・編集.	12
▪ 登録した情報の削除.	13
▪ 表示データの絞り込み.	13
▪ データの検索.	14
▪ 指定範囲内の検索.	14
▪ 地図の情報.	14
▪ 住所から場所の検索.	15
▪ 距離と面積の計算.	15
▪ Google マップの表示.	15
▪ 写真を撮影しながらポイント追加.	15
▪ 写真位置情報(ジオタグ)からインポート.	15
▪ レイヤーのインポート.	16
▪ 座標・住所からポイントデータを作成.	17
▪ 地図のカスタマイズ.	18
▪ レイヤーのカスタマイズ.	20
▪ 入力欄のカスタマイズ.	22
▪ パスワードの設定.	23
▪ オプションの設定.	25
▪ ライセンスの購入.	26
▪ お問い合わせ・サポート.	28

DocuMap feel

(ドキュマップフィール)

について

インターネット地図を利用した、位置管理ソフトです。簡単な操作で表示データのカスタマイズをすることができ、GPS で現在地を確認したり、PC のカメラから撮影した写真の登録を行います。

「DocuMap feel」は、地図上にポイント・ライン・ポリゴンを簡単に登録・検索ができます。デスクトップをはじめタブレット型の Windows との相性がよく、タッチ操作に適したデザインを採用しています。基本的な登録操作は、表示される地図をクリックして行う他、写真が持つ位置情報(Exif・ジオタグ)からポイントをインポートしたり、住所から座標を求めるジオコーディングによりポイントをインポートしたりしてデータを登録します。

登録したデータは、全文検索できる他、登録した写真の一覧から地図上の場所を特定することができます。また、登録するデータの入力欄は、ユーザーがカスタマイズすることが可能で、管理したいものに合わせて自由に組み合わせることが可能となっています。

表示できる地図は、インターネット上の地図を利用することができ、切り替えて使用することが可能です。当初登録されている地図は、

- ・ 地理院地図
- ・ OpenStreetMap
- ・ Google マップ(オプションメニューから設定)

を指定することが可能です。地図のカスタマイズでは、地図を透過して重ねたり、別のインターネット地図を追加したりすることが可能となっています。また、対応している地図は、一度見た場所の地図を自動保存しインターネットが使えない場所でもローカルに保存した地図を使って表示することができます。

特に、別途データベースの MySQL と連携させることが可能で、複数人による閲覧やデータの登録を行うことができるようにすることが可能です。腕に覚えがあるユーザーは、連携して位置情報の共有を試すことができます。

また、クラウド機能を使うと、別の PC の「DocuMap feel」へデータのやり取りが、送信相手に「認証キー」と「パスワード」を伝えるだけで簡単に行えます。

データのインポートに KML にも対応しているので、Google マップのマイマップとのやり取りや、データの管理用としてご利用することができます。

※ 一部機能は、有償のキーを登録することにより利用可能となります。

※ 現在位置の表示は PC 本体に GPS が内蔵されている機種で利用可能。

※ 全ての PC で、利用できることを保証するものではありません。

簡単操作説明

地図の表示

アイコンをダブルクリックし、起動したら「ドキュメントを開く」をクリックします。インターネットの地図を利用して地図上でデータの管理が行えるようになります。

ポイントの追加

「ポイント追加」をクリックし、地図をクリックすると、その場所へポイントが追加されます。ポイントには、名前やメモを書き込むことができ、地図上でポイントをクリックすると、詳細情報として表示されます。

写真の撮影（カメラ付きパソコンの場合）

ポイントを追加し、フォトを右クリック（タブレット時は長押し）すると表示されるメニューから「カメラ 1 から登録」をクリックすると、写真撮影モードになります。表示される画像部分をクリックすると写真を撮影することができます。

現在地の表示

をクリックすると、GPS 付きタブレットの場合、現在の場所へアイコンが表示されトラッキングが開始されます。トラッキングが開始されると、地図の中心が自動的に現在地へ移動されます。もう一度、クリックするとトラッキングは解除されます。

写真から検索

登録した写真の一覧表示を行い、対象の詳細情報を素早く見つけることができます。

登録日からデータの絞り込み

データが増えてくると地図が見にくくなってきますが、表示するデータを「今年」「今月」「今日」登録したものだけに、簡単に切り替えることができます。

登録したデータを別 PC やスマホと連携

クラウドエクスポート機能を使うと、ポイント・ライン・ポリゴンで記録したデータを簡単に別 PC の DocuMap feel や、Android アプリの Documap 傾斜区分図に転送することができます。

空間検索

「ツール」→「空間検索」を利用すると、指定地点から指定半径の範囲内にあるデータを、検索することができます。検索されたデータはCSV形式でコピーすることができます。

座標・住所からポイントデータ作成

「ツール」→「座標・住所からポイントデータ作成」を利用すると、一度に複数のポイントデータを簡単に追加することができます。

動作環境

Windows7 以降
100MB 程度の空き容量
2GB 以上のメモリー

インストール

最新版のダウンロードは、以下の URL から行うことができます。

<http://yourside.xsrv.jp/download.php>

ダウンロードしたファイル「Dmf3xx.zip」(xx はバージョン番号)を解凍し、「setup.exe」を実行します。

インストールの設定は、表示される画面の情報に従ってください。

アンインストール

「コントロール パネル」の「プログラムと機能」から、「DocuMap feel」を選択し「アンインストール」をクリックします。

DocuMap feel の起動

「デスクトップ」にある「DocuMap feel」のアイコンをダブルクリックします。



または、「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「YourSide」→「DocuMap feel」をクリックします。

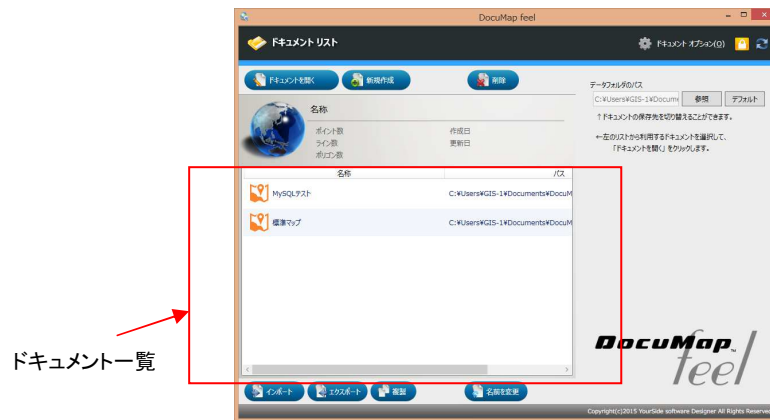
ドキュメントリスト

DocuMap feel を起動すると、ドキュメントリストが表示されます。

作成するデータはドキュメントと呼ばれる単位で保存されます。

ドキュメントには、地図の設定や添付ファイルなどをまとめたフォルダで構成されています。

ドキュメントリストは、ドキュメントの一覧を管理します。



「ドキュメントを開く」

ドキュメント一覧から既存のドキュメントを開きます。

ドキュメントを開くと地図が表示されます。

「新規作成」

ドキュメントを新規作成します。

新規作成をクリックし、表示される画面の「ドキュメント名」を入力し、「OK」をクリックすると新規ドキュメントが作成されます。

「削除」

ドキュメントを削除します。

「インポート」

別の場所にあるドキュメントを取り込みます。

「エクスポート」

別の場所へドキュメントを出力します。(ドキュメントはフォルダとして保存されます。)

「複製」

ドキュメントのコピーを作成します。

「名前を変更」

ドキュメントの名前を変更します。(標準マップ という名前は変えることができません。)

「参照」

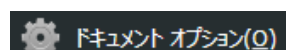
ドキュメントが保存されているデータフォルダのパスを変更します。

データフォルダのパスを変更すると、別の場所にドキュメントを保存することができます。

「デフォルト」

「参照」で変更した、データフォルダのパスを通常に戻します。

「ドキュメント オプション」



パスワードを設定して、ドキュメントを新規作成できなくなったり、削除できなくなったりします。

「制限の解除」



オプションで設定したパスワードを一時的に解除します。鍵アイコンをクリックしパスワードを入力すると制限が解除されます。(パスワード設定時のみ有効)

「アップデートの確認」



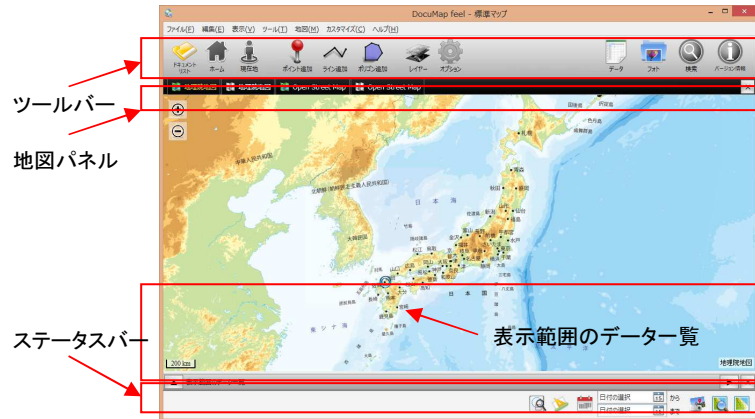
インターネットからアプリケーションの更新を確認します。

※ ドキュメントの名称は、ドキュメントが入れられるフォルダ名となっています。

ドキュメントのフォルダの中身は、ユーザーが独自に移動や名前の変更は行わないでください。ファイルへのリンクが切れて正常にデータを表示することができなくなります。

地図の操作

ドキュメントを開くと地図が表示されます。



「地図の移動」

地図上でドラッグすると、地図の中心が移動されます。

タッチパネルの場合、スワイプでも移動できます。

「地図の拡大縮小」

地図の「+」クリックで拡大、「-」クリックで縮小します。

マウスのスクロールボタンを回転させることでも拡大・縮小します。

タッチパネルの場合、ピンチイン・ピンチアウトでも拡大・縮小します。

※ マウスのスクロールボタンやピンチイン・ピンチアウトで拡大・縮小できない場合、地図を右クリック(タッチパネルの場合、長押し)すると拡大・縮小が回復します。

■ ツールバー

「ドキュメントリスト」

ドキュメントリストへ戻ります。

「ホーム」

「オプション」で設定する、初期起動後に表示する位置へ地図を移動します。

「現在地」

GPS 機能が搭載されているパソコンの場合、現在の位置を取得して表示します。

※現在地の表示の更新を停止したい場合、他のボタンをクリックします。

「ポイント追加」

地図上にポイントを追加して、詳細情報を登録します。

「ライン追加」

地図上にラインを追加して、詳細情報を登録します。

「ポリゴン追加」

地図上にポリゴンを追加して、詳細情報を登録します。

「レイヤー」

レイヤーリストを表示します。チェックを切り替えることでレイヤーの表示・非表示を切り替えます。

「オプション」

オプション画面を表示します。

「データ」

登録されている情報の一覧を表示します。

「フォト」

登録されている写真の一覧を表示します。

「検索」

検索画面を表示します。

「バージョン情報」

バージョン情報を表示します。

■ 地図パネル

表示する地図の種類を変更します。表示するボタンと地図の設定は、「カスタマイズ」→「地図設定」から変更します。



インターネットに接続している時、表示することができます。



一度表示した地図をインターネットの接続なしで表示します。



地図を重ねて表示します。

■ 表示範囲のデータ一覧

現在地図に表示されている範囲に存在する詳細情報の一覧が表示されます。

一覧は、新しい順から、「オプション」の「地図 同時表示データ数」で設定した数の詳細情報が表示されます。表示を切り替えるには、地図を拡大したり移動したりするか、ステータスバーの「表示データ」から、表示するデータを切り替えます。

「収納と表示」

画面下にリストが表示時は「▼」をクリックするとリストが収納され、「▲」をクリックするとリストが表示されます。



リスト表示時



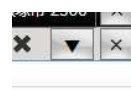
リスト収納時

「右に表示と下に表示」

画面下にリストが表示時は「▶」をクリックするとリストが右に表示され、「▼」をクリックするとリストが下に表示されます。



リストが下に表示時



リストが右に表示時

「詳細情報」



選択しているリストの行の詳細情報を表示します。

「この場所へ移動する」



選択しているリストの行の地図の場所を表示します。

「クラウドからインポート」



クラウドからデータをインポートします。

「クラウドへエクスポート」機能を使って、インターネット上に保存したデータを取り込みます。

「クラウドへエクスポート」



クラウドへデータをエクスポートします。

インターネット上に、選択したデータを保存します。保存したデータは、「クラウドからインポート」機能を使って、データを取り込むことができます。

「削除」



選択しているリストの行のデータを削除します。

■ ステータスバー

「計測」

地図上の距離と面積を計測します。

「表示データ」

表示するデータを限定します。

※地図に複数のデータを登録して行くと、表示する項目が増えすぎて地図が見にくくなったり、データを探しにくくなります。表示するデータの登録した日付を限定することで、見つけやすくします。

「Exif データのインポート」

写真撮影時に記録されている位置情報を利用して、地図上にポイントを生成します。

「住所から場所検索」

住所やランドマーク名から場所を検索します。

※ インターネットに接続している必要があります。

「地図情報」

現在表示している地図中心座標やズームレベル等を表示します。また、地図をクリックすると、クリックした場所の情報が表示されます。

ポイントの登録・編集

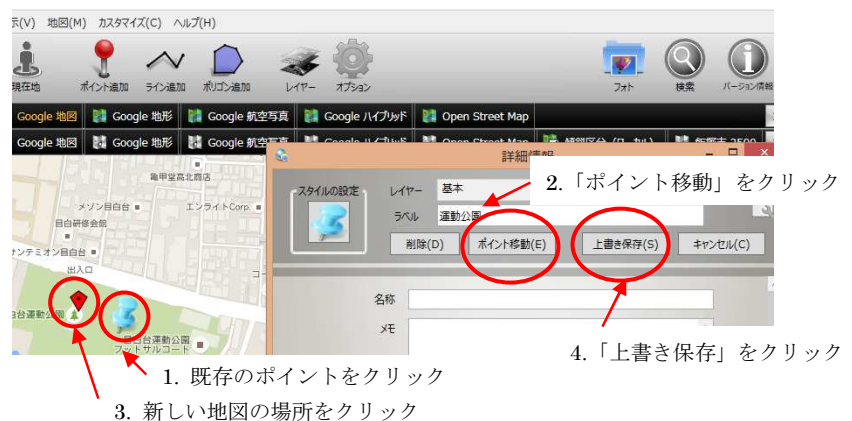
ツールバーの「ポイント追加」をクリックし、登録したい地図上の場所をクリックします。次に、詳細情報に記録したい内容を入力し、「保存」をクリックします。



地図上の場所を変更したい場合は、「キャンセル」をクリックして再度入力しなおすか、一度保存した後、追加したポイントをクリックし「ポイント移動」をクリックして変更してください。

■ ポイントの移動

地図上のポイントをクリックし、表示される詳細情報の「ポイント移動」をクリックします。次に、地図の移動先をクリックし「上書き保存」をクリックします。



ラインの登録・編集

ツールバーの「ライン追加」をクリックし、登録したい地図上の場所をクリックしていき、最後の地点でダブルクリックします。次に、詳細情報に記録したい内容を入力し、「保存」をクリックします。



間違えて折れ点を追加した場合、「一つ戻す」をクリックすると、一点前の状態に戻せます。
ラインの描画を終了したい場合、地図をダブルクリックするか、「編集完了」をクリックします。

■ ラインの編集

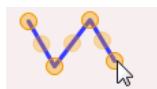
地図上のラインをクリックし、表示される詳細情報の「図形編集」をクリックします。次に、もう一度、地図上のラインをクリックします。すると、編集可能状態となりライン上の折れ点に○が表示されます。この○をドラッグすると、折れ点の位置を移動することができます。
また、中間点をドラッグすると、折れ点を追加できます。

・ ラインの構成

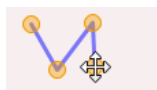


・ ラインの編集

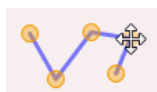
「図形編集」をクリックし、対象のラインをクリックします。



ライン上の折れ点の○をドラッグすると移動できます。



ライン上の中間点の○をドラッグすると折れ点を追加できます。



ライン上の折れ点の○をクリックして「Delete」キーを押すと折れ点を削除できます。



地図をクリックすると編集マークが消え編集が完了されます。



ポリゴンの登録・編集

ツールバーの「ポリゴン追加」をクリックし、登録したい地図上の場所をクリックしていき、最後の地点でダブルクリックします。次に、詳細情報に記録したい内容を入力し、「保存」をクリックします。



間違えて折れ点を追加した場合、「一つ戻す」をクリックすると、一点前の状態に戻せます。ポリゴンの描画を終了したい場合、地図をダブルクリックするか、「編集完了」をクリックします。

■ ポリゴンの編集

地図上のポリゴンをクリックし、表示される詳細情報の「図形編集」をクリックします。次に、もう一度、地図上のポリゴンをクリックします。すると、編集可能状態となりポリゴン上の折れ点に○が表示されます。この○をドラッグすると、折れ点の位置を移動することができます。また、中間点をドラッグすると、折れ点を追加できます。

※ポリゴンの編集は、ラインの編集のやり方と同じです。

登録情報の削除

削除には、2通りのやり方があります。

「詳細情報から削除」

削除するポイントをクリックし、表示される詳細情報の「削除」をクリックします。

「表示範囲のデータ一覧」

削除する情報を、表示範囲のデータ一覧に表示されている中からクリックし、右クリックして「削除」をクリックします。または、「✕」をクリックします。

表示データの絞り込み

詳細情報は、登録されると新しく登録された方から順に表示されるようになっています。

また、地図の表示を素早くするため、同時表示件数に制限を加えています。

この為、複数の情報が記録されている場合、地図を拡大して表示されている地図の範囲を少なくすることで、別の情報を表示することができます。

また、情報を表示する期間の範囲を設定することで、素早く対象の情報を見つけ出すことができます。

「表示データの絞り込み」

表示データの絞り込みをクリックすると、表示データの期間を選択する画面が表示されます。

ここから、表示するデータを限定することができます。



「今年」をクリックすると、今年に登録されたデータのみが表示されます。

「今月」をクリックすると、今月に登録されたデータのみが表示されます。

「今日」をクリックすると、今日に登録されたデータのみが表示されます。

「クリア」をクリックすると、表示データの絞り込みを解除します。

「詳細な表示データの絞り込み」

画面右下にあるカレンダーに、表示させる日付の範囲を設定することで、詳細な表示データの絞り込みを行うことができます。



データの検索

ツールバーの「検索」をクリックすると、検索画面が表示されます。

検索画面に、キーワードを入力してエンターキーを押すと、該当する情報が一覧に表示されます。

対象をダブルクリックすると、詳細情報が表示されます。また、右クリックして「詳細情報」をクリックしても詳細情報が表示されます。

「この場所へ移動する」をクリックすると、地図の中心が登録図形がある場所へ移動されます。

指定範囲内の検索

指定した半径内に存在するデータを検索します。

「ツール」→「空間検索」をクリックします。



中心の場所を指定し、検索半径を設定後、「OK」をクリックします。



該当するデータが「表示範囲のデータ一覧」に表示されます。

表示範囲のデータ一覧は、選択し右クリックし「コピー」を行うと、クリップボードにコピーすることができます。

地図の情報

現在表示している地図の緯度経度・ズームレベルなどの情報を表示します。

ステータスバーの「地図の情報」をクリックします。

表示内容は地図の中心が移動する毎に更新されるほか、調べたい地図上の場所をクリックしても表示が更新されます。

また、緯度と経度とズームレベルを入力して、「>」をクリックすると、目的の場所を表示することができます。

住所から場所の検索


住所やランドマーク名から地図の場所を検索することができます。

ステータスバーから、「住所から場所の検索」をクリックして、住所を入力後「検索」をクリックします。該当する箇所が見つかりと地図の中心が移動します。

※ インターネットに接続している必要があります。

距離と面積の計算

地図上を距離と面積を計算して表示します。

ステータスバーから、「距離と面積の計算」をクリックし、地図上の計測したい場所をクリックしていくと距離が計算されます。また、「」をクリックし、地図上の計測したい場所をクリックすると面積が計算されます。終了するときは、ダブルクリックするか、画面を閉じます。



Google マップの表示

背景の地図に Google マップを表示することができます。

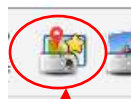
ツールバーの「オプション」をクリックし、「Google マップを使用する」にチェックをいれて、「OK」をクリックします。すると、DocuMap feel が再起動され、地図パネルに「Google 地図」、「Google 地形」、「Google 航空写真」、「Google ハイブリッド」が追加されます。

追加されたボタンをクリックすると地図を切り替えることができます。

※ インターネットに接続している必要があります。

写真を撮影しながらポイント追加

GPS 機能とカメラが搭載されたパソコンの場合、現在地の座標をもとにポイントデータを追加することができます。



クリック



追加をクリックすると、GPS から取得した地点にポイントデータを追加します。

写真位置情報(ジオタグ)からインポート

GPS 機能付き携帯電話等で撮影された写真など、座標情報が追加写真を地図にインポートします。(※オプション機能)

ステータスバーの「写真位置情報(ジオタグ)からインポート」をクリックし、表示される画面の「参照」をクリックしてインポートしたい写真を選択し、「OK」をクリックします。

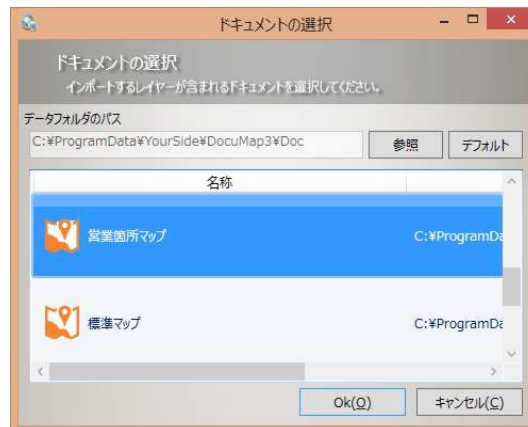
インポートが成功すると、地図上にアイコンと写真が登録されます。

レイヤーのインポート

別のドキュメントのレイヤーをインポートします。

「ファイル」→「インポート」→「ドキュメントからレイヤー読み込み」をクリックします。

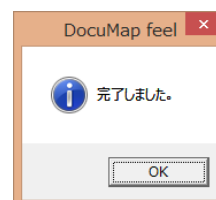
インポート元のドキュメントを選択し、「OK」をクリックします。



インポートしたいレイヤーにチェックを入れ、「OK」をクリックします。



終了すると完了画面が表示されます。



座標・住所からポイント データを作成

CSV 形式のテキストファイルから、ポイントデータを作成することができます。

項目には、

データにつけるラベル名、緯度、経度、住所、データ…。

となります。緯度・経度と住所はどちらか一方でも構いません。

緯度・経度がない場合、住所から緯度・経度を割り出します。

座標・住所からポイントデータを作成します。

座標がある場合は、座標を優先し、座標がない場合は、住所から座標を検索します。

インポートするCSVファイルの形式

ラベル名, 緯度, 経度, 住所, [データ1], [データ2] ...

※ 緯度・経度は、10進法です。(例: 35.3622222, 138.7313889)

※ 緯度・経度が分からない場合、空白か0を指定します。

※ [データ] が存在する場合、インポート先のレイヤーの各入力欄に割り当てられます。

CSVファイル: C:\Users\GIS-1\Desktop\test.csv 参照(R)

インポート先レイヤー: 基本

状態	ラベル	緯度	経度	住所	データ
	東京駅	35.68138200	139.7660839		
	富士吉田市			富士山	"富士山 (ふじさん, 英語: Mount Fuji)"
	東京のシンボル			東京タワー	東京タワー

Ok(O) キャンセル(C)

「OK」をクリックすると、インポートを開始します。

インポートが成功すると、リストから取り出されます。

住所だけの場合で、緯度・経度を割り出すことが出来なかった場合、リストに残りますので、住所を訂正した後、「OK」をクリックすると、残った分のインポートが開始されます。

CSV ファイルのサンプル

ファイル名: test.csv

ファイルの中身:

東京駅,35.6813820000003,139.7660839999999,

富士吉田市,,,富士山,富士山(ふじさん, 英語: Mount Fuji)

東京のシンボル,,,東京タワー,

※ CSV ファイルは、メモ帳やエクセル等を利用して作成してください。

地図のカスタマイズ

背景に表示される地図の種類を追加したり、変更することができます。

「カスタマイズ」→「地図設定」をクリックします。



「地図の追加」

「追加」をクリックします。



名称:

地図の名称

地図の種類:

- | | |
|-----------|------------------------------|
| XYZ | (地理院地図やグーグルマップの地図) |
| XYZ(ローカル) | (XYZ をパソコン内のデータで利用する場合) |
| TMS | (Tile Map Service 用に作成された地図) |
| TMS(ローカル) | (TMS をパソコン内のデータで利用する場合) |

タイル種類:

タイル画像のファイル形式を入力します。(png、jpg など)

透過度:

地図の透過度を設定します。

別の地図と透かして見るできるようになります。

最大ズームレベル:

地図を表示するズームレベルの範囲を設定します。

地図オーバーレイ:

チェックを入れると、チェックを入れていない地図の上に重ねて表示することができますようになります。

表示・非表示:

この地図を表示する・しないを選択します。

著作情報:

地図を表示した際、右下に表示される著作情報名を入力します。

地図の保存:

地図の保存にチェックを入れると、パソコン内に見た地図の範囲を画像として保存します。保存された画像は、地図の種類で「XYZ(ローカル)」や「TMS(ローカル)」として設定することで、インターネットが無い場合でも、地図を表示することができるようになります。

(※現在は、対応している地図のみ)

切替ボタンの表示先:

地図切り替えボタンの表示先を、「地図パネル1」か「地図パネル2」にすることができます。

「地図の変更」

設定を変更する対象をクリックした後、「編集」をクリックします。

編集が終了したら「OK」をクリックします。

「地図の削除」

削除する対象をクリックした後、「削除」をクリックします。

「地図の表示順序の変更」

地図を重ねて表示する際、リストの上位にあるほど地図は、背面に表示され、リストの下部にあるほど、地図は前面に表示されるようになります。

レイヤーのカスタマイズ

データをレイヤーに分けて登録したりすることで、データを分けて表示できるようになります。
「カスタマイズ」→「レイヤー設定」をクリックします。



「レイヤーの追加」

「追加」をクリックします。



名称:

レイヤーの名前

説明:

レイヤーの説明

表示・非表示:

このレイヤーを表示する・しないを選択します。

ラベル 表示・非表示:

地図にラベルを表示する・しないを選択します。

ラベルは、詳細情報のラベルから入力します。



「レイヤーの変更」

設定を変更する対象をクリックした後、「編集」をクリックします。

編集が終了したら「OK」をクリックします。

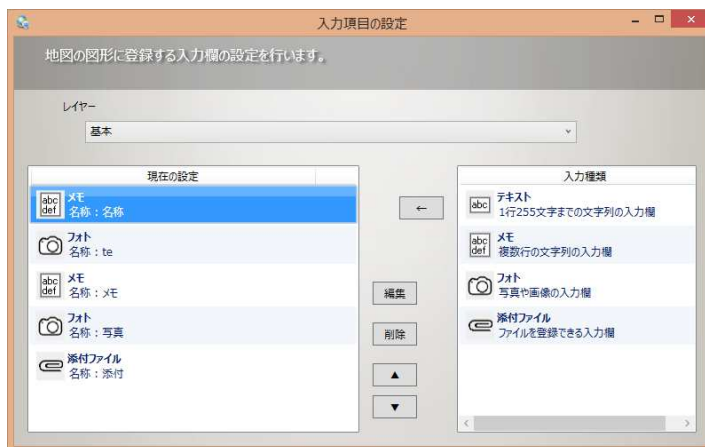
「レイヤーの削除」

削除する対象をクリックした後、「削除」をクリックします。

入力欄のカスタマイズ

地図に登録できるポイント・ライン・ポリゴンをクリックした際に表示される、詳細情報の入力欄の項目を設定します。

「カスタマイズ」→「入力欄の設定」をクリックします。



レイヤー:

レイヤーの一覧(入力欄は、レイヤー毎に設定を行います。)

現在の設定:

現在設定されている入力欄の設定内容が表示されます。

入力欄の種類には現在、「テキスト」「メモ」「フォト」「添付ファイル」があります。

- ・ テキスト

1行分の文字列の入力と表示を行うことができます。

- ・ メモ

複数行の文字列の入力と表示を行うことができます。

- ・ フォト

画像を表示したり、カメラ付き PC から写真を撮影することができます。

- ・ 添付ファイル

ファイルを登録することができます。登録したファイルは、個別に起動することができます。

「入力欄の追加」

追加したい入力欄の種類を右側の「入力種類」から選択し、「←」をクリックします。

名称を入力し、「OK」をクリックします。

「入力欄の変更」

設定を変更する対象をクリックした後、「編集」をクリックします。

編集が終了したら「OK」をクリックします。

「レイヤーの削除」

削除する対象をクリックした後、「削除」をクリックします。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、閲覧や入力を制限することができます。

パスワードには、ドキュメントリストで設定するものと、地図画面から設定するタイプがあります。

ドキュメントリストでは、

- ・ ドキュメントの新規作成を制限
- ・ ドキュメントの削除を制限
- ・ ドキュメントの名前の変更を制限
- ・ ドキュメントの複製を制限
- ・ ドキュメントのインポートを制限
- ・ ドキュメントのエクスポートを制限
- ・ データフォルダのパスの変更を制限（データの保存先）

をパスワードで制限することができます。

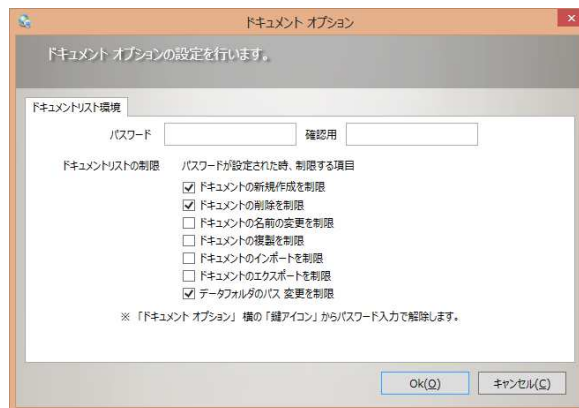
地図画面では、

- ・ データの追加・変更・削除・オプションの設定を制限
- ・ カスタマイズ・オプションの設定を制限
- ・ ドキュメントを開く際、パスワード入力を求める

をパスワードで制限することができます。

ドキュメントリストの制限の設定

ドキュメントリストの「ドキュメント オプション」をクリックし、設定するパスワードを「パスワード」と「確認用」に入力し、制限したい項目にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

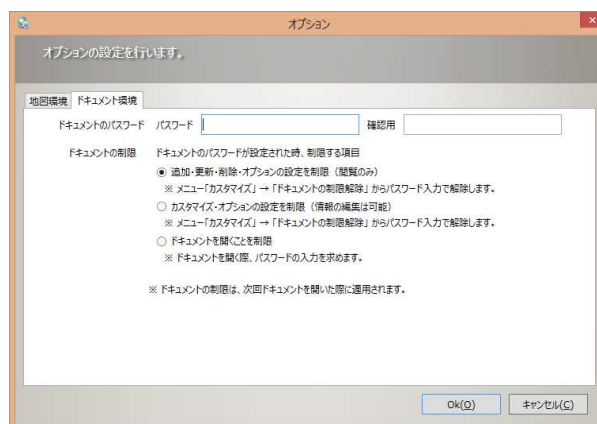


ドキュメントリストの制限を解除するときは、「ドキュメント オプション」の横のカギアイコンをクリックします。次に、表示されるパスワード入力画面に、設定した際のパスワードを入力します。

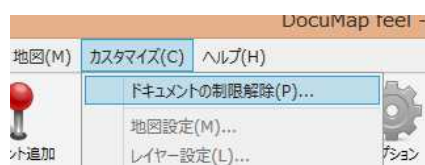


地図画面での制限の設定

ドキュメントを開いた後、「オプション」をクリックし、「ドキュメント環境」タブをクリックし、設定するパスワードを「パスワード」と「確認用」に入力し、制限したい項目にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

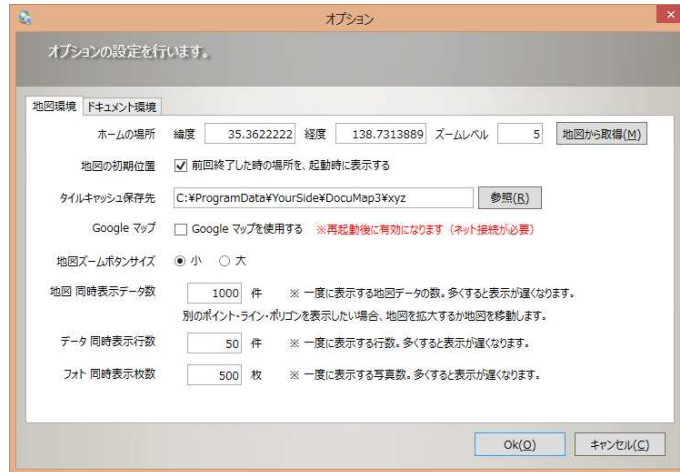


地図画面での制限を解除するときは、「カスタマイズ」→「ドキュメントの制限解除」をクリックします。次に、表示されるパスワード入力画面に、設定した際のパスワードを入力します。



オプションの設定

このアプリケーションの各種設定を行います。



ホームの場所:

「ホーム」をクリックしたときに表示される場所の位置。

「地図から取得」をクリックすると、現在表示している地図中心座標とズームレベルが設定されます。

地図の初期位置:

チェックを入れると、前回最後に表示していた場所を、次回起動時に表示します。

タイルキャッシュ保存先:

インターネット接続時に、表示した地図データを保存する場所を指定します。

Google マップを使用する:

チェックすると、背景地図に Google マップを利用することができるようになります。

地図ズームボタンサイズ:

地図上の＋ボタンのサイズを調性します。

地図同時表示データ数:

地図上に一度に表示するデータ数を設定します。

データ同時表示行数:

データに一度に表示するデータ数を設定します。

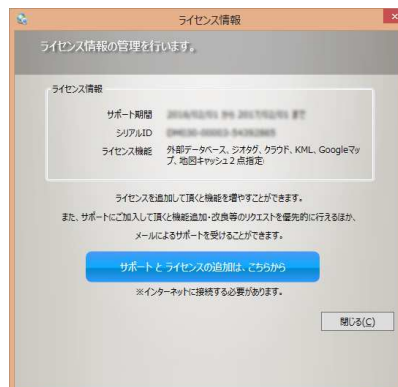
フォト同時表示枚数:

フォトに一度に表示するデータ数を設定します。

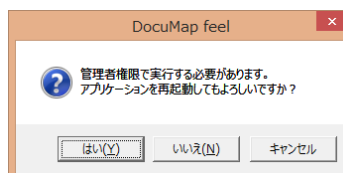
ライセンスの購入

ライセンスを購入することで、機能の追加や、サポートを受けることができますようになります。

地図画面から「ヘルプ」→「ライセンス情報」をクリックします。



「サポートとライセンスの追加は、こちら」をクリックすると、管理者でログインしていない場合は、管理者で再起動する画面が表示されます。「はい」をクリックします。



この場合、再起動された後に地図画面から、再度「ヘルプ」→「ライセンス情報」をクリックします。



お支払方法・ライセンス確認に利用するメールアドレスを入力し、同意にチェックをいれ、「次へ」をクリックします。



ご希望の商品の「カートに追加」をクリックし、「次へ」をクリックします。

(クレジットカード払い(PayPal)の場合は、別途開かれるページより決済を行ってください。)

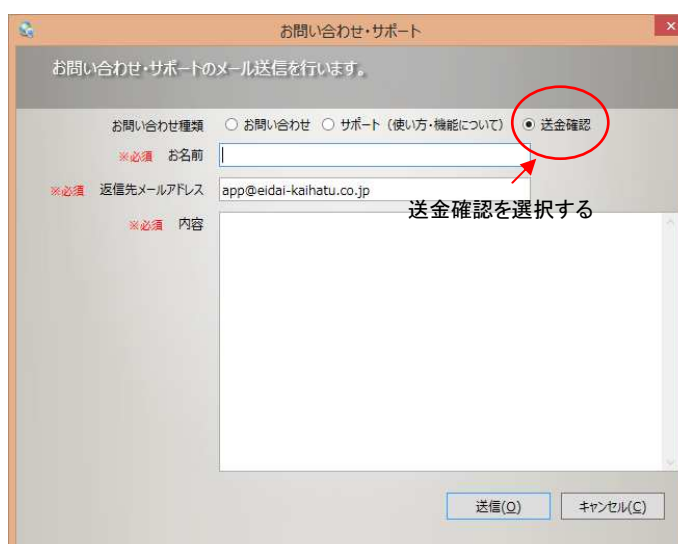


銀行振り込みの場合は、「この内容で注文する」をクリックすると注文されます。

その後、表示される振込先まで、代金をお支払いください。



銀行振り込みの場合は、お支払が完了されましたら、地図画面の「ヘルプ」→「お問い合わせ・サポート」から送金確認メールをお送りください。



お問い合わせ・サポート

お問い合わせやサポートについては、「ヘルプ」→「お問い合わせ・サポート」からメールをお送りください。（※ライセンスから、サポートの追加をされている方を優先いたします。）

The screenshot shows a web form titled 'お問い合わせ・サポート' (Inquiry/Support) with a subtitle 'お問い合わせ・サポートのメール送信を行います。' (We will send an email for inquiry/support). The form includes three radio buttons for 'お問い合わせ種類' (Inquiry type): 'お問い合わせ' (selected), 'サポート（使い方・機能について）' (Support (usage/functionality)), and '送金確認' (Payment confirmation). Below these are three required fields: 'お名前' (Name), '返信先メールアドレス' (Reply-to email address, pre-filled with 'app@eidai-kaihatu.co.jp'), and '内容' (Content). At the bottom right are '送信(O)' (Send) and 'キャンセル(C)' (Cancel) buttons.

お問い合わせ・サポート	
お問い合わせ・サポートのメール送信を行います。	
お問い合わせ種類	<input checked="" type="radio"/> お問い合わせ <input type="radio"/> サポート（使い方・機能について） <input type="radio"/> 送金確認
※必須 お名前	<input type="text"/>
※必須 返信先メールアドレス	<input type="text" value="app@eidai-kaihatu.co.jp"/>
※必須 内容	<div></div>
<div>送信(O) キャンセル(C)</div>	